

2023年度 事業計画

当連合会の目的は「喉頭摘出術を受けた者の発声練習についての研究および指導を通じて福祉向上に寄与する」ことでもあります。この目的を達成するために、次の活動を計画します

2023年度の事業計画は次の通りです。

1. 新型コロナウイルス(COVID-19)感染今後の対応

基本的には政府、自治体からの通達、情報に基づき対応するが、具体策、詳細は各団体が独自判断にて対応します。

2. 会員は、正会員：4,000名、賛助会員等を含め4,050名を見込んでいます。

3. 事業関係としては、

総会1回、理事会2回以上を、更なる活動推進のために開催を予定します。

4. 行事として

①ブロック研修会

会員団体は全国に53あります。活動内容の目的は共通ですが、会員団体が独自に工夫した名案、永年の間に培われた伝統と技術、さらには助成提供団体の掘り起こしなど相互に学ぶべきことは多いと思います。

ブロックごとに、ブロック研修会の開催を通して、会員相互の情報交換と研鑽の成果を挙げて頂きたいと願っております。特に会員減少の対応について十分な議論が必要です。

今年度のブロック研修会日程は、別表の通りです。

5. 喉頭摘出者発声訓練士資格制度

日喉連認定発声訓練士制度は、導入11年目を迎えます。高齢化と会員数の減少などにより、訓練士数は減少傾向にあります。今年度重点目標としましては、会員から訓練士候補を掘り起こし、共通研修教材を受講していただき訓練士を養成いたします。また、発声訓練士の養成指導カリキュラムの充実と徹底を図り、資格制度の質の向上を図ります。

6. 日喉連の収支改善、活動について

本会活動の質をさらに高め、法人・個人に活動内容を理解していただいた

上で賛助会員の募集をします。また、行事、会議等を見直し費用削減を図ると共に、会員にとって有用な日常生活用品の提供・販売を強化し、収支改善に貢献します。

7. 会報の発行、日喉連のPR活動

会報「日喉連」第53号の発行及びタイムリーな情報をホームページの有効活用により、日喉連活動のPRに努めます。

8. 会員団体相互の交流会

この交流会は、過去において大変好評であり、環境を整えば是非実施したいと願っております。

国内にとどまらず海外の喉摘者団体との交流の機会を検討していきたいと思えます。また、オンラインでの交流の可能性も検討します。

9. その他

目的達成に役立つ行事開催の機会があれば、適切な活動を行います。

以上